

## チリ

## 主要データ

国名〔英名〕	チリ共和国〔Republic of Chile〕
面積(km <sup>2</sup> )	756,102
海岸線延長(km)	6,435
人口(百万人)	17.4
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	23.0
GDP(十億 US\$)	250.47
一人当り GDP(US\$)	13,910.15
主要鉱産物：鉱石	銅、モリブデン、金、銀
主要鉱産物：地金	銅、炭酸リチウム
鉱業管轄官庁	鉱業省(Ministerio de Minería)
鉱業関連政府機関	チリ銅委員会(COCHILCO)、チリ地質鉱業局(SERNAGEOMIN)
鉱業法	鉱業法
ロイヤルティ	鉱業特別税法(法律第 20026 号)、鉱業ロイヤルティ改正法(法律第 20469 号)
外資法	外資法(法律第 600 号)
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境基本法、鉱山保安規則、閉山法
鉱業公社	チリ銅公社(CODELCO)、チリ鉱業公社(ENAMI)
鉱業活動中の民間企業	BHP Billiton、Rio Tinto、Glencore、Anglo American、Freeport-McMoRan、Antofagasta Minerals、Teck Resources 等
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉱業用水・電力の不足</li> <li>・ 初期投資額及び操業コストの増大</li> <li>・ 高い人件費と低い労働生産性</li> <li>・ 先住民や地域住民からの訴訟</li> <li>・ 鉱業投資リスク増大する可能性のある法制度改革</li> </ul>
2014 年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Ministro Hales 銅鉱山、Caserones 銅-モリブデン鉱山、Sierra Gorda 銅-モリブデン鉱山の操業開始</li> </ul>

## 1. 鉱業一般概況

チリは首都サンティアゴより北の国土の半分が世界有数の斑岩銅鉱床帯であり、また第Ⅲ州を中心に酸化鉄・銅・金(IOCG)鉱床も多数賦存する。この地質鉱床学的な銅資源ポテンシャルの大きさと、1990年代より整備されてきた鉱業投資環境により、世界で最大の銅鉱石の埋蔵量と生産量を維持している。

2014年の銅生産量は前年比0.4%減の575.0万tで、世界の銅生産量(鉱山生産)1,851.6万tの31.1%を占めた(シェア第1位)。2014年の銅輸出量は566.2万tで前年から1%増加した一方、銅輸出額は379.7億US\$で同4.5%減少した。銅輸出額は、チリの2014年鉱産物輸出額合計435.2億US\$の87.3%、全輸出額の49.5%を占める。

銅の副産物として生産されるモリブデンの2014年生産量は、前年比26.0%増の48,770.2tで、世界のモリブデン生産量304,500tの16.0%を占めた(中国、米国に次ぎシェア第3位)。2014年のモリブデン輸出額は前年比37.5%増の16.1億US\$であった。

2014年の平均銅価は3.11US\$/lbと、2013年の3.35US\$/lbに比べ7.2%下落、この銅価格下落などの要因により国営鉱山会社(CODELCO及びENAMI)及び大手民間鉱山会社10社からの税収は前年比8.4%減の53.3億US\$となり、全国家収入における割合は8.9%で前年から1.2ポイント減少した。

## 2. 鉱業政策の主な動き

### (1) 先住民との協議規則(Reglamento que regula el procedimiento de consulta indígena、政令第66号)

2014年3月、ILO第169号条約に準ずる先住民との協議手続きを規定する規則(政令第66号)が施行された。同規則は3編(第I編 一般規定、第II編 協議の原則、第III編 協議の手順)、全19条で構成される。協議の手順には、a) 協議プロセスの企画、b) 情報提供及び協議プロセスの周知、c) 先住民内部での審議、d) 対話、e) 協議プロセスの体系化、結果の通告及び終了の5段階が定められており、立法措置の場合には前述の各段階に最大25営業日、行政措置の場合には最大20営業日の期間が与えられている。

### (2) 税制改革(Reforma Tributaria、法令20780号)

2014年4月、Bachelet大統領は、選挙公約であった教育改革などの財源を確保する税制改革法案を提出。その後、9月に国会で法案が成立した。

### (3) 法令3525号第2条の改正(法令20819号)：探査あるいは地質調査結果へのアクセス優遇と報告義務を怠った場合の罰則

2015年3月10日、中小鉱山会社の探査あるいは地質調査結果へのアクセス優遇措置と、鉱業法第21条に定める探査あるいは地質調査結果の報告要請に関するSERNAGEOMINの機能強化を規定する法案(法令20819号)が成立し、3月14日に公布された。報告要請に対する不履行は最高100UTA(約52百万ペソ、約80,000US\$)の罰金の対象となる。

### (4) CODELCO 資金供給法案

2014年8月、Bachelet大統領は、2014~2018年に40億US\$をCODELCOへ供給する法案に署名。

2014年9月にCODELCOが公表した2014~2018年の投資計画によると、投資総額は235.42億US\$であり、新規プロジェクトへの総投資額は201.90億US\$とされる。新規プロジェクト総投資総額201.90億US\$の内訳は、大型開発プロジェクト：122.65億US\$(61%)、サステナビリティ投資：27.35億US\$(14%)、プロジェクト開拓：27.12億US\$(13%)、設備更新等：14.03億US\$(7%)となっている。大型開発プロジェクトへの投資額122.65億US\$の内訳は、Radmiro Tomic 鉱山硫化鉱採掘：34.8億US\$、Chuquicamata 鉱山坑内採掘移行：32.65億US\$、El Teniente 鉱山新規レベル開発：28.81億US\$、Andina 鉱山新輸送システム：9.75億US\$、Andina244(Andina 鉱山拡張)：7.77億US\$、Rajo Inca 露天採掘移行：5.71億US\$、Ministro Hales 鉱山：3.17億US\$。

### (5) 氷河保護法案

2015年3月、政府は、氷河保護法案の修正点(14項目)について、上院環境委員会および下院環境委員会と合意した。Badenier 環境大臣は、合意された中で最も重要な修正点として以下をあげた。

- ・氷河は公共利用のための国家資産であり、氷河に水利権を設定することはできない。
- 他のいくつかの重要な修正合意事項は、次の通り。
- ・定義された禁止事項に触れる可能性がある場合、最終的にプロジェクトが氷河(氷河形成のプロセスを含む)に影響を与えるかどうかによって、承認済み環境認可の見直しを行う。
  - ・環境影響評価システムを改め、氷河保護を考慮した特別な環境認可を付与する。認可は、水資源総局により付与される。

- ・氷河保護法に基づく監査は水資源総局が実施することとし、このために、水資源総局の権限を強化する。

#### (6) リチウム技術委員会

2015年1月、リチウム委員会は、リチウム政策に関する提案書を Bachelet 大統領に提出した。政府は、提案書に基づき、リチウム政策を策定するとみられる。提案書の内容について公表された範囲では、以下の事項が盛り込まれている。

- ・リチウムは戦略的鉱物資源であり、鉱区設定の対象鉱物に含めないことを憲法において規定する。
- ・リチウム開発のために官民パートナーシップを構築する。
- ・リチウムを開発するために国有会社を設立する。
- ・1979年の法令施行前に付与された鉱業権の保持者は、特別操業契約の裁定を申請する。
- ・Atacama 塩湖については、規制変更によって、CORFO とすでに調印された契約が妨げられることがないようにする。将来のオペレーションに関して新しく規制を設ける。
- ・すでに付与された鉱業権に関する政府による円滑な管理のためにあらたな機関を設立する。

#### (7) 電力供給システム相互接続法(法令第 20726 号)

2014年1月30日、北部供給システム(SING)と中央供給システム(SIC)の相互接続を可能にする電力供給システム相互接続法(法令第 20726 号)が公布され、2015年4月17日、Bachelet 大統領と Pacheco エネルギー大臣が政令に署名した。2015年7月に接続時工事が着手された。SING-SIC 相互接続のための投資額は10億US\$と言われ、社会的反対を受け発電所建設が容易に進まないチリ中央部への電力供給を目的とした石炭火力発電所の建設が北部で推進されることが見込まれるとともに、3~6億US\$のコスト削減効果も期待され、2017年には電力料金が2~18%下がるとの予測もある

#### (8) エネルギー政策

2014年5月、Michelle Bachelet 大統領は、電気料金の引き下げや非在来型再生可能エネルギー導入促進などを柱とする2014~2018年のエネルギー政策を発表した。

政策の中で、Bachelet 政権の任期が終わる2018年までに中央供給システム内の電力マージナルコストの30%引き下げが掲げられ、家庭用電気料金も今後10年間で25%の引き下げを目指すとした。

また、非在来型再生可能エネルギー開発・導入の障壁撤廃を掲げ、2025年までに発電量の20%を再生可能エネルギー由来にすると義務付ける電力法遵守のため、2014~2025年に導入される発電容量の45%を再生可能エネルギーとするとした。

さらに、エネルギー利用の効率化を促進、2025年までに20,000GWh/年のエネルギーを節約し、エネルギー価格の変動から消費者を保護する燃料価格安定化制度の設計を行うとした。

これら政策の推進のため、政府は4年間に2.5億US\$を投入、さらに、エネルギー安全保障に積極的な役割を果たせるよう国営石油企業 ENAP に4億US\$の資金供給を行うとした。

#### (9) 閉山法改正法(法令 20819 号)

2015年3月10日、閉山法(法令 20551 号)の一部を改正する法律(法令 20819 号)が制定された。中小規模鉱山にとって負担が大きいとの批判に配慮し、手続きの簡素化や要件の緩和等を図るとしたもので、具体的な改正内容は以下の通り。

- ・中小規模鉱山の鉱業プロジェクトの寿命の算定の簡素化(第3条q項):粗鉱処理量月間1万t以上、50万トン以下の鉱山プロジェクト寿命は、鉱物資源ならびに埋蔵に関する専門家によって示され、承認され、且つ鉱物資源の埋蔵量ならびに探鉱認証のための規定に定められた認定調査に合った確定可採埋蔵量を基に計算される。
- ・閉山計画の提出(第16条):月間採掘能力が5千t未満であり、生産プラント、鉱滓あるいはり

一テング済みの鉱石の堆積場を持たない鉱山会社の閉山計画に関しては、鉱業事業所ならびに鉱山会社の身元確認、解体、アクセス道路等の閉鎖対策、ずりあるいは堆積場の物理的安定性対策を具体的に示すことでこの義務を履行したこととする。

#### (10) ENAMI

2015年3月にトロントで開催されたPDACにおいてENAMIは、保有鉱区における探鉱開発事業に関して、民間からの提案の受け入れと契約交渉を通じてパートナーを求めていくとの方針を発表。従来は、保有鉱区の売却あるいはオプション契約の相手方企業・組織を公募入札により選定していた。

### 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

#### (1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2012年	2013年	2014年	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
銅(鉱山生産合計)(金属量、千t)	5,433.9	5,776.0	5,749.6	-0.5	31.1	1
銅(精鉱)(金属量、千t)	3,405.1	3,843.1	3,905.6	1.6		
銅(SxEw)(千t)	2,028.8	1,932.9	1,844.0	-4.6	48.1	1
モリブデン(千t)	35.1	38.7	48.8	26.0	16.1	3
金(t)	49.9	51.3	46.0	-10.3	1.6	18
銀(t)	1,194.5	1,173.8	1,571.8	33.9	5.8	5
テルル(t)	1.5	1.0	1.0	0.0	0.5	8
セレン(t)	41.2	41.2	41.2	0.0	1.7	13
炭酸リチウム(千t)	62.0	52.4	55.1	5.2		
塩化リチウム(千t)	4.2	4.1	3.0	-27.0		
水酸化リチウム(千t)	5.4	4.2	4.2	-0.1		
鉄鉱石(千t)	16,694.8	15,751.7	16,346.5	3.8	0.5	15

(出典：Cochilco Yearbook: Copper and other Mineral Statistics 1995-2014, World Metal Statistics Yearbook 2015, U.S. Geological Survey, Mineral Commodity Summaries January 2015)

#### (2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2012年	2013年	2014年	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
銅地金(SxEw)(千t)	2,028.8	1,932.9	1,844.0	-4.6	48.1	1
銅地金(その他)(千t)	873.2	822.0	885.4	7.7		
銅地金(合計)(千t)	2,902.0	2,754.9	2,729.4	-0.3	11.9	2

(出典：Cochilco Yearbook: Copper and other Mineral Statistics 1995-2014)

#### (3) 主要金属消費量

表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2012年	2013年	2014年	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
ニッケル(千t)	0.1	0.1	0.1	-6.3	0.01	48

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2015)

## (4) 主要金属輸出入

表 3-4. 精鉱・地金輸出入

鉱種	2012年	2013年	2014年	対前年増減比(%)	主な輸出手相手国
銅(合計)(金属量、千t)	5,233.3	5,590.1	5,662.0	1.3	
銅(精鉱)(金属量、千t)	2,092.3	2,533.3	2,727.0	7.6	中国、日本、インド
銅(ブリストル)(金属量、千t)	407.8	469.8	450.0	-4.2	-
銅(電気銅)(金属量、千t)	2,732.1	2,586.0	2,484.3	-3.9	中国、米国、韓国、台湾
銅(スクラップ)(金属量、千t)	1.1	1.0	0.7	-30.4	-
モリブデン(精鉱)(千t)	20.9	17.6	21.1	19.8	日本、オランダ、韓国
三酸化モリブデン(千t)	0.8	1.3	1.5	12.8	スペイン、ドイツ、カナダ
フェロモリブデン(千t)	15.5	13.1	14.6	13.1	米国、ブラジル
金(千t)	10.0	20.0	30.0	77.7	スイス、インド、カナダ
鉛(精鉱)(千t)	16.9	20.0	20.0	-0.14	中国、日本、ペルー
亜鉛(精鉱)(千t)	0.0	7.8	5.8	-26.1	ペルー
炭酸リチウム(千t)	55.9	47.6	49.4	3.8	韓国、日本、中国

(出典：Cochilco Yearbook: Copper and other Mineral Statistics 1995-2014, World Metal Statistics Yearbook 2015, World Metal Statistics April 2015, Global Trade Atlas, International Trade Centre)

## (5) 主要金属輸入量

表 3-5. 精鉱・地金輸入量

鉱種	2012年	2013年	2014年	対前年増減比(%)	主な輸入相手国
銅鉱石(千t)	151.5	162.9	151.4	-6.7	ペルー
モリブデン精鉱(千t)	37.9	25.2	32.3	+28.1	ペルー、メキシコ
アルミニウム鉱石(千t)	1.0	0.2	0.7	187.4	
クロム鉱石(千t)	6.7	7.9	9.7	21.8	南ア、トルコ、米国
亜鉛地金(千t)	9.6	9.9	8.6	-13.2	ペルー、アルゼンチン、韓国
鉛地金(千t)	0.9	0.4	0.3	-42.3	ペルー

(出典：Cochilco Yearbook: Copper and other Mineral Statistics 1995-2014, World Metal Statistics Yearbook 2015, World Metal Statistics April 2015, Global Trade Atlas)

## 4. 鉱山・製錬所状況

## (1) 主要鉱山

表 4-1. 主要鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益: %)	鉱種	2013年 生産量* (千t)	2014年 生産量* (千t)	備考
Chuquicamata	CODELCO(100)	銅 モリブデン	339.0 6.9	340.4 15.5	モリブデンは Radomiro Tomic 分を含む
Radomiro Tomic	CODELCO(100)	銅 モリブデン	379.6 1.1	327.3 (15.5)	
Ministro Hales	CODELCO(100)	銅	33.5	141.2	
Salvador	CODELCO(100)	銅 モリブデン	54.3 0.9	54.0 0.7	
Andina	CODELCO(100)	銅 モリブデン	236.7 7.2	232.4 6.9	
El Teniente	CODELCO(100)	銅 モリブデン	450.4 6.9	455.5 7.5	
Gaby	CODELCO(100)	銅	128.2	121.0	
Los Pelambres	Antofagasta(60)	銅	419.2	404.6	

	日本企業 5 社 (40)	モリブデン 金 (t)	9.0	7.9 2.1	
El Tesoro	Antofagasta (70), 丸紅 (30)	銅	102.6	93.8	2014 年、Gentinalra 鉱山に SxEx 事業とし て統合
Esperanza	Antofagasta (70), 丸紅 (30)	銅 金 (t)	177.1 7.4	108.7 6.4	2014 年、Gentinalra 鉱山に精鉱生産事業 として統合
Michilla	Antofagasta (74.2), 地元権者 (25.8)	銅	38.3	47.0	
Escondida	BHP Billiton (57.5) Rio Tinto (30) 日本企業 3 社 (12.5)	銅 金 (t) 銀 (t)	1,193.7 2.2 92.1	1,165.4 2.2 132.8	
Cerro Colorado	BHP Billiton (100)	銅	73.6	79.6	
Spence	BHP Billiton (100)	銅	151.6	176.1	
Collahuasi	Glencore (44), Anglo American (44) 日本企業 3 社 (12)	銅 モリブデン	444.5 3.0	470.4 6.1	
Los Bronces	Anglo American (50.1) CODELCO (20.0) 日本企業 2 社 (29.9)	銅	416.3	404.5	
El Soldado	Anglo American (50.1) CODELCO (20.0) 日本企業 2 社 (29.9)	銅	51.5	32.4	2015 年 8 月現在、Anglo American は売却を検 討中
Mantos Blancos	Anglo American (100)	銅	54.6	52.4	2015 年 8 月、投資コン -シムとの間で売却を 合意
Mantoverde	Anglo American (100)	銅	56.8	51.8	2015 年 8 月、投資コン -シムとの間で売却を 合意
Lomas Bayas	Glencore (100)	銅	74.2	66.4	
El Abra	Freeport MacMoRan (51) CODELCO (49)	銅	155.6	166.4	
Candelaria	Freeport MacMoRan (80) 日本企業 2 社 (20)	銅	168.0	134.7	
Quebrada Blanca	Teck (76.5), Inversiones Mineras SA (13.5), ENAMI (10)	銅	56.2	48.1	
Carmen de Andacollo	Teck (90), ENAMI (10)	銅 金 (t)	76.8 2.1	71.8 1.5	
Zaldívar	Barrick Gold (100)	銅	126.5	100.6	2015 年 Q4、 Antofagasta 社が 50% 取得予定
Caserones	パンパシフィック・カッ パー (77.37)、 三井物産 (22.63)	銅 モリブデン	16.2 -	44.6 -	2014 年 4 月、精鉱生産 ライン操業開始し、ラ ンプアップへ移行 2014 年 7 月、開山式 2015 年 9 月、フル操業 移行予定
Sierra Gorda	KGMH International (55)、住友金属鉱山 (31.5)、住友商事 (13.5)	銅 モリブデン	- -	12.7 -	2014 年 7 月、操業開始 2014 年 10 月、開山式 2015 年 6 月、商業生産 へ移行 2015 年内にフル操業 移行予定

El Toqui	Nyrstar (100)	亜鉛	23.0	37.0	
		金(t)	1.3	0.6	
		銀(t)	4.4	9.7	

(出典：Cochilco Yearbook: Copper and other Mineral Statistics 1995-2014, Anglo American Annual Report 等)

\*生産量は全て金属純分

(2) 製錬・精錬所生産状況

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬所名	操業者	生産物	2013年 生産量 (千t)	2014年 生産量 (千t)	生産能力ほか
国営企業操業 5 製錬所	CODELCO 及び ENAMI	銅アノード	904.1	1,054.2	CODELCO: Chuquicamata 1,400 千t Potrerillos 600 千t Ventanas 400 千t Caletones 1,972 千t ENAMI: H. Videla Lira 322 千t
		銅カソード	822.0	885.4	
Altonorte	Glencore	銅アノード	309.0	302.0	983 千t
Chagres	Anglo American	銅アノード	145.2	128.5	529 千t 2015 年 8 月現在、Anglo American は売却を検討中

(出典：Cochilco Yearbook: Copper and other Mineral Statistics 1995-2014, Anglo American Annual Report 2014、Glencore Xstrata Annual Report 2014、メディア報道)

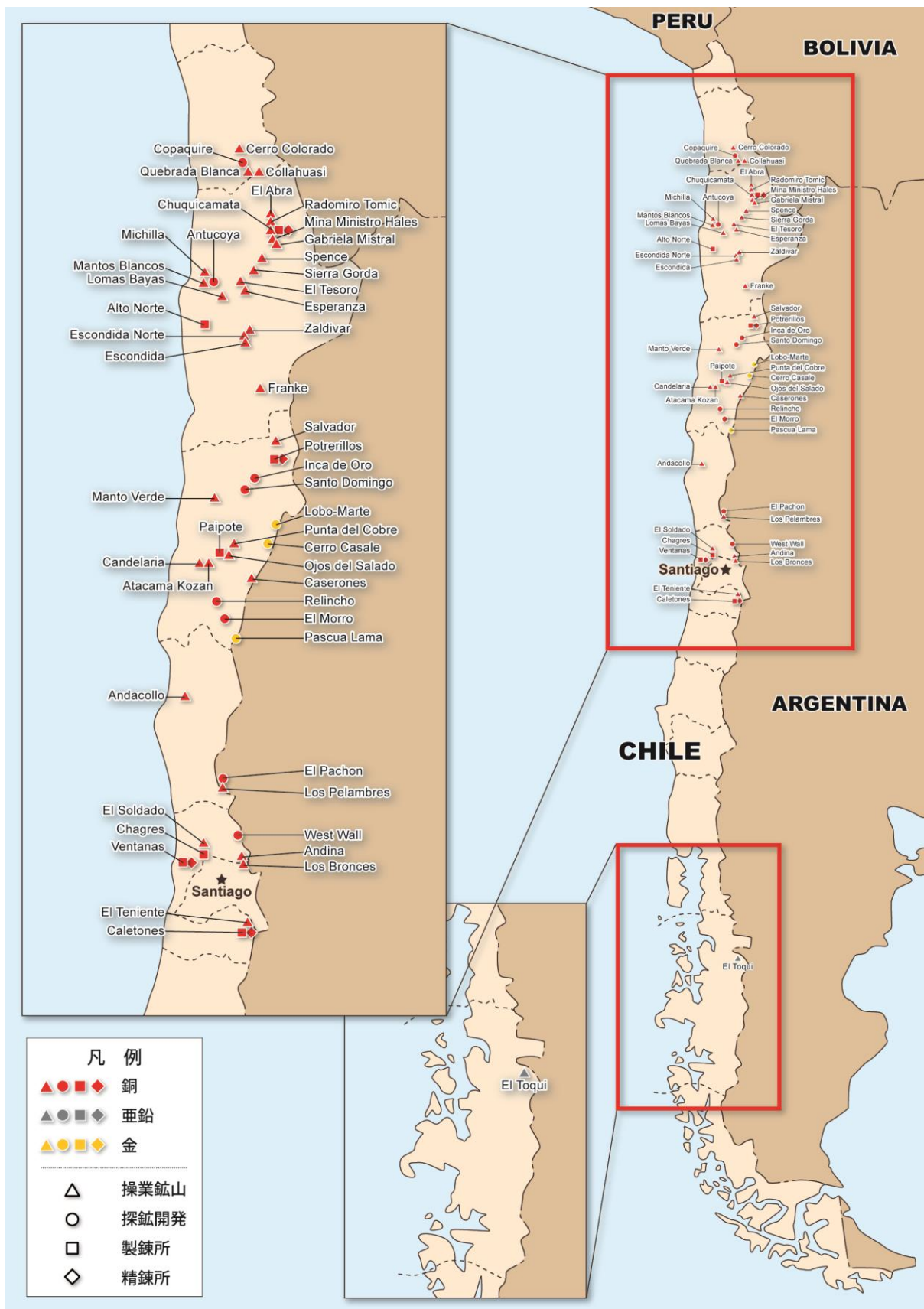


図 1.主要鉱山、探鉱開発プロジェクト、製錬所位置図



## 5. 探鉱状況

### (1) 2014 年の探鉱投資概況

2014 年のチリにおける探鉱予算額は 707 百万 US\$であり、これは、10,739 百万 US\$とされる全世界の探鉱予算額の 6.6%を占めるもので、カナダ(13.9%)、豪州(11.7%)、米国(7.1%)、メキシコ(6.6%)に次いで第 5 位。2013 年の全世界の探鉱予算額に占める割合と比較すると 0.3 ポイント上昇した。2013 年の予算額 909 百万 US\$と比較すると約 200 百万 US\$の減少(22%減)となった。

2014 年の探鉱予算全体に占める割合の上位 3 社は、Antofagasta Plc 社(27%)、BHP Billiton(10%)、CODELCO(6%)。ジュニア企業の中では、Hot Chili 社(豪州)の額(16 百万 US\$)が大きい。2013 年の予算額との比較では、Antofagasta 社が 17%増額となったほかは、各社減額となっており、BHP Billiton: 48%減、CODELCO: 11%減、Barrick Gold: 30%減、Freeport McMoRan: 51%減であった。2014 年のチリにおける探鉱予算額の減少は銅価格の低下を受けた鉱山会社の経費削減の一環として探鉱支出が削減されていることが背景。2014 年中にチリにおける探鉱プロジェクト 237 件のうち、52 件が中止された。

2014 年の探鉱投資を国別にみると、チリ: 38%、カナダ: 24%、豪州: 17%、米国: 5%、日本: 4%となっている。

### (2) 主要鉱山会社の状況

#### ① Antofagasta Minerals

2014 年の探鉱投資額(ブラジルやエクアドル等、チリ国外分を含む)は 167.5 百万 US\$で、2013 年から 39.1%減少した。チリについてみると探鉱予算額は 17%増えており、他社の予算額が減少しているのに対し(CODELCO: 11%減、BHP Billiton: 48%減、チリ全体で 22%減)、Antofagasta Minerals 社のみが増加した。2015 年の予算は 115 百万 US\$。

Antofagasta Minerals 社は Centinela 地域のブラウンフィールド探鉱に注力するが、北部(第 I 州および II 州)および中部の斑岩銅ベルトにおけるグリーンフィールド探鉱も実施している。2014 年のグリーンフィールドにおける主な探鉱成果としては、Los Volcanes 銅プロジェクトでの鉱量増大があげられ、鉱物資源量 13 億 t を把握した。そのほかに銅プロジェクトとして、Conchi(硫化鉱ターゲット)、Brujulina Sur(酸化鉱ターゲット)および Cerro Las Papas Sur(硫化鉱ターゲット)の探鉱を継続して実施している。

#### ② BHP Billiton

2015 年 8 月、チリ探査大会に於いて Escondida 銅鉱山の操業 JV 会社である Minera Escondida 社(BHP Billiton 57.5%)は、同鉱山露天採掘ピットの東~南東に隣接する Escondida Este 銅-モリブデンプロジェクトの探鉱成果として、予察的な見積もりながら、鉱物資源量: 90~190 億 t、銅品位: 0.48%を把握したと発表した。鉱床は地表下 400m~1,500m に賦存する初生硫化銅-モリブデン鉱床。

57.5%権益を保有する Escondida 鉱山で、2014 年 5 月~2015 年 5 月に総掘進長 90,000m (Escondida 鉱床: 60,000m、Escondida Norte 鉱床: 30,000m) のボーリング調査を実施。鉱物資源カテゴリから可採鉱量カテゴリへと格上げされた部分が貢献して、2015 年 6 月末時点での同鉱山の可採鉱量は、前年同時点から 11%増大し、酸化鉱: 147 百万 t、品位: 0.76%、リーチング硫化鉱: 2,640 百万 t、品位: 0.45%、硫化鉱: 5,610 百万 t、品位 0.67% (カットオフ品位は、酸化鉱: 0.20%、硫化鉱: 0.30%)となった。可採年数は 54 年。

#### ③ CODELCO

2014 年の探鉱投資額は 43.5 百万 US\$ (総額 55 百万 US\$のうち 79%)であった。2014 年の主な探鉱成果としては、El Teniente 鉱山周辺における La Huifa 鉱床の発見と Andina 鉱山周辺における Este Profundo 鉱床の発見があげられる。Andres NW、Don Felipe 銅プロジェクト(何れも第 II 州)でも探

鉱を実施した。

La Huifa 鉱床では銅金属量：130 万 t、平均品位 銅：0.805%、モリブデン：0.022%（カットオフ品位 銅：0.5%）が計上されている。El Teniente 銅鉱山の北東 2km に位置することから、新規鉱山としての開発あるいは El Teniente 銅鉱山に統合しての開発が検討されている。

Este Profundo 鉱床では銅金属量：290 万 t、平均品位 銅：0.77%、モリブデン：0.03%（カットオフ品位 銅：0.5%）が計上されている。

2015 年 7 月に提出された探査プログラム “Plan de Exploraciones y Prospecciones geológicas 2015-25” の環境影響評価書申請によると、7,200 万 US\$ を投資して、El Teniente 銅鉱山の北域と南域においてボーリング調査等の探査が実施される予定とされ、El Teniente 鉱山周辺の地質データを収集するとともに、将来的に開発が期待される鉱物資源量を把握することが可能となる見込み。

## 6. 我が国との関係

### (1) 日本への輸出

表 6-1. 日本への精鉱及び地金輸出货量

鉱種	2012 年	2013 年	2014 年	対前年増減比 (%)	備考
銅(合計)(金属量、千 t)	698.7	720.8	790.7	9.7	
銅(精鉱)(金属量、千 t)	644.3	703.4	766.1	8.9	
銅(ブリストア)(千 t)	-	0.2	-	-	HS 740319
銅(電気銅)(千 t)	54.3	17.2	25.9	50.6	HS 740311
モリブデン(焙焼)(グロス、千 t)	20.5	18.8	23.2	23.4	HS 261310
炭酸リチウム(グロス、千 t)	9.6	7.2	10.3	43.0	HS 283691

(出典：Cochilco Yearbook: Copper and other Mineral Statistics 1995-2014、財務省貿易統計)

### (2) 日本企業による投資状況等

我が国民間企業は、1970 年代からチリ銅鉱業に対して投資を行ってきている。現在の日本企業のチリ銅鉱山への出資状況、それら鉱山の拡張プロジェクト、並びに日本企業が参画する鉱山開発プロジェクトは、それぞれ表 6-2、表 6-3 及び表 6-4 のとおりである。日本企業が関係する投資事業に関する主なトピックスは以下のとおり。

#### ① Caserones 銅-モリブデン鉱山

2014 年 4 月に、磨鉱・浮遊選鉱設備等の鉱石処理負荷試運転の開始が、同年 6 月に、5 月 31 日よりランプアップに移行し、銅精鉱の生産が開始されたことが発表された。

2014 年 7 月 30 日、サンティアゴにおいて安倍首相、Williams 鉱業大臣臨席のもと開山式が執り行われた。

#### ② Sierra Gorda 銅-モリブデン鉱山

2014 年 7 月 31 日、KGHM International は Sierra Gorda 鉱山において処理プラントへの鉱石の供給を開始したと発表した。

2014 年 10 月 1 日、鉱山現地において Bachelet 大統領臨席のもと、開山式が執り行われた。

2015 年 7 月、商業生産開始を発表。

表 6-2. 日本企業によるチリ銅鉱山への出資比率一覧

鉱山名	操業開始年	2014年銅生産量(千t)	日本側出資比率	日本企業		外国企業	
				企業名	出資比率	企業名	出資比率
Escondida	1990	1,165.4	12.5%	三菱商事	8.25%	BHP-Billiton	57.5%
				JX日鉱日石金属	3.00%	Rio Tinto	30.0%
				三菱マテリア	1.25%		
Candelaria	1995	134.7	20.0%	住友金属鉱山	16%	Lundin Mining	80%
				住友商事	4%		
Ojos del Salado	2004	-	20.0%	住友金属鉱山	16%	Freeport	80%
				住友商事	4%		
Collahuasi	1999	470.4	12.0%	三井物産	7.43%	Glencore	44%
				JX日鉱日石金属	3.60%	Anglo American	44%
				三井金属	0.97%		
Los Pelambres	2000	404.6	40.0%	JX日鉱金属	15.00%	Antofagasta	60%
				三菱マテリア	10.00%		
				丸紅	8.75%		
				三菱商事	5.00%		
				三井物産	1.25%		
Atacama Kozan	2003	13.7	60.0%	日鉄鉱業	60%	Inversiones Errazuriz	40%
El Tesoro	2001	93.8	30.0%	丸紅	30%	Antofagasta	70%
Esperanza	2010	108.7	30.0%	丸紅	30%	Antofagasta	70%
Anglo American Sur	-	436.9	29.9%	三菱商事	20.4%	Anglo American	50.1%
				三井物産	9.5%	CODELCO	20.0%
Gaserones	2014	44.6	100%	パンパシフィック・銅・カッパー	77.37%	-	-
				三井物産	22.63%		
Sierra Gorda	2014	12.7	45%	住友金属鉱山	31.5%	KGMH	55%
				住友商事	13.5%	International	

(出典：Cochilco Year Book: Copper and Other Mineral Statistics 1995-2014、各社公表資料)

表 6-3. 日本企業が権益を保有する銅鉱山の主な拡張プロジェクト

プロジェクト名	権益保有企業(権益：%)	概要	投資額(百万US\$)	スケジュール等
Escondida Organic Growth Project 1 (OGP1)	BHP Billiton(57.5), Rio Tinto(30), 三菱商事(8.25), JX日鉱日石金属(3), 三菱マテリア(1.25)	Escondida 鉱山拡張事業。粗鉱処理能力 15.2 万 t/日の選鉱設備への更新と既存施設下位の高品位鉱石へのアクセス確保。	4,279	2015年6月、試験操業開始
Actualización Esperanza	Antofagasta(70), 丸紅(30)	Centinela 鉱山精鉱生産事業(旧 Esperanza 鉱山)の粗鉱処理能力を 10.5 万 t/日まで引き上げ。年間生産能力 1.7 万 t 増加。	500	2015年操業開始予定
Collahuasi leaching pad	Glencore(44), Anglo American(44), 三井物産(7.43), JX日鉱日石金属(3.6), 三井金属(0.97)	Rosario Sur I ピットおよび II ピットからの採掘鉱石を対象とするリーチングパッド拡張事業	50	2015年8月、環境認可承認見込み
Encuentro Óxidos	Antofagasta(70), 丸紅(30)	Encuentro 鉱床酸化鉱を新規開発し(銅量 4 万 t/年、可採年数 8 年)、	636	2016年H2操業開始予定

		Centinela 鉱山 SxEw 事業 (旧 El Tesoro 鉱山)へ供給。年産銅量 10 万 t/年を維持可能。		
Gandelaria 2030	Lundin Mining (80), 住友金属 鉱山(16), 住友商事(4)	Gandelaria 鉱山の露天ピットを拡張するなどして可採鉱量約 200 百万 t の鉱床を開発。可採年数を 2030 年以降まで延長。	460	2015 年 7 月、環境認可承認 2016 年操業開始予定
Sierra Gorda Phase II	KGMH International (55)、住友金属 鉱山 (31.5)、住友商事 (13.5)	Sirra Gorda 鉱山の粗鉱処理能力 11 万 t/日を 19 万 t/日に拡張。年間銅生産能力は 12 万 t から 22 万 t へ。	1,400	2017 年操業開始予定
Escondida Water Supply	BHP Billiton(57.5), Rio Tinto(30), 三菱商事(8.25), JX 日鉱日石金属(3), 三菱マテリア(1.25)	Escondida 鉱山拡張・操業維持に対応するため、2,500l/秒の能力を有する海水淡水化プラントを建設。	3,430	2017 年操業開始予定
Los Pelambres Incremental Expansion	Antofagasta(60), JX 日鉱日石金属(15), 三菱マテリア(10), 丸紅(8.75), 三菱商事(5), 三井物産(1.25)	Los Pelambres 鉱山の粗鉱処理能力を 20.5 万 t/日に拡張し、銅生産量 5.7 万 t/年を追加	1,200	2016 年環境認可申請予定 2019 年操業開始予定
Collahuasi Expansion Phase III	Glencore(44), Anglo American(44), 三井物産(7.43), JX 日鉱日石金属(3.6), 三井金属(0.97)	Collahuasi 鉱山の年間銅生産能力に 44 万 t を追加。現状能力 50 万 t を約 100 万 t に拡張。	6,500	2024 年以降?
Ampliacion Los Pelambres IV	Antofagasta(60), JX 日鉱日石金属(15), 三菱マテリア(10), 丸紅(8.75), 三菱商事(5), 三井物産(1.25)	Los Pelambres 鉱山の年間銅生産能力に 24 万 t を追加。	7,000	2024 年以降?

(出典 : Consejo Minero HP [Catastro del Consejo Minero, Proyectos de inversion de empresas socias, Mayo de 2014]、SEA、COCHILCO [Inversion en la mineria chilena - Catastro de proyectos 2015-2024]、各社公表資料、メディア報道等)

表 6-4. 日本企業が参画する鉱山開発プロジェクト

プロジェクト名	権益保有企業 (権益 : %)	概要	投資額 (百万 US\$)	スケジュール等
Antucoya 銅プロジェクト	Antofagasta(70), 丸紅(30)	計画銅生産量 8.5 万 t/年の新規鉱山開発事業。ヒープリーチング及び SxEw。	1,900	2015 年 Q3 操業開始予定
Sol Naciente 銅プロジェクト	日鉄鉱業(100)	鉱量 400 万 t。計画粗鉱生産量 25 万~40 万 t/年。粗鉱を Atacama Kozan 鉱山へ供給。	8.0	2014 年 5 月、環境認可申請 2015 年 5 月、環境認可承認 承認後建設期間 5 ヶ月を見込む
Los Helados 銅金プロジェクト	NGEx(60), パンパシフィック・カッパー(40)	PEA 結果によると年間銅生産量は 11.5 万 t あるいは 8.1 万 t。  鉱物資源量 : 2,926 百万 t、銅 : 0.36%、金 : 0.14g/t	4,300 あるいは 3,100	2014 年 10 月、PEA 結果公表

(出典：Consejo Minero HP [Catastro del Consejo Minero, Proyectos de inversión de empresas socias, Mayo de 2014]、SEA、COCHILCO [Inversión en la minería chilena - Catastro de proyectos 2015-2024]、各社公表資料、メディア報道等)

## 7. その他トピックス

### (1) 地域社会・環境問題

#### ① Pascua Lama 金-銀プロジェクト

2014年3月3日、環境裁判所は、2013年5月に環境監督庁がMinera Nevada社に対して下した約1,600万US\$に上る罰金措置を無効にする判決を下した。一方、同庁による建設工事の中断命令については維持した。判決は、個別に制裁措置を適用すべきところ、違法行為のグループ分けを行った決定とその他の3つを加重要素とした背景が理解できないとし、これだけで裁定を無効とする十分な理由となると述べた。

2014年3月20日、環境監督庁は環境裁判所が裁定したMinera Nevada社に対する罰金措置の取り消しについて、最高裁判所への上訴を見送ることを決定したと報じられた。最高裁判所への上訴見送りについて、Cristián Franz 局長は「裁定を順守し、技術的にも法的にも確固たる論拠のある結論を出す」と述べた。Barrick Goldは、同日、判決破棄を求め、最高裁判所へ訴えた。

2014年5月、Barrick Goldは、Pascua Lama プロジェクト建設に反対するDiaguaita族先住民グループと暫定合意に達したと報道された。Huasco 渓谷に居住する18のDiaguaita族コミュニティのうちの15コミュニティと覚書を取り交わした。この暫定合意に関し、Diaguaita族コミュニティ代表のLorenzo Soto 弁護士は、「チリにおいて初めて締結される性質の合意であり、今後は先住民コミュニティが類似プロジェクトの開発に対し意見を述べる権利を持つことになる」とコメントした。暫定合意の有効期間は6ヶ月で、Barrick Goldはプロジェクトに関する情報を先住民と共有することに合意、それらの情報は独立した専門家によって裏付けをとることができることとされ、その費用は同社が負担する。このステージが成功と判断されれば、両者は最長2年間の対話ステージを開始する。このステージには、国際監視員が参加、先住民ロイヤルティの支払いが検討される。建設は、このステージが完了するまで開始されない。先住民ロイヤルティに関しSoto 弁護士は、類似ロイヤルティに関するアイデアはこれまで存在しないが、創設されうるものであり、創設への障害はないと述べた。Williamas 鉱業大臣は、Barrick Goldと先住民コミュニティ間の合意を歓迎したが、鉱業に普遍的に適用される先住民ロイヤルティ導入の短期的な可能性については否定した。

2014年6月、Barrick Goldは、プロジェクトを維持メンテナンス段階に置くことを発表。

2015年6月、Barrick Goldは、2013年9月に下された環境認可一時保留の最高裁判所判決において、保留解除の条件とされた水管理システムの導入事業のほか、環境監督庁から要請を受けた水管理や湿地帯保護に係る対策事業についての環境認可の手続きを開始すると報じられた。2015年のプロジェクト関連予算は1.4~1.5億US\$の維持メンテナンス費用を含む1.7~1.9億US\$とされている。

#### ② El Morro 金-銅プロジェクト

2014年11月、Goldcorp社(カナダ)は、ニュースリリースで、El Morro 金-銅プロジェクトの環境影響評価書(EIS)を取り下げたことを発表した。これは、2013年10月に再取得した環境認可(RCA)に関する2014年10月7日の最高裁判所の判決結果を受けたもの。ニュースリリースでは、同社は、開発判断基準に適合する新たな開発計画が策定可能かどうかの検討に着手したとしている。プロジェクト再開となったとしても、建設開始に少なくとも3年、操業開始に5年かかることが予想される。

El Morro 金-銅プロジェクトに係る環境認可は、2012年4月に最高裁判所の裁定により一時取り消しとされたが、環境影響評価中の先住民との協議部分が修正されたとして、2013年10月に第III州環境評価委員会により環境認可の再承認がなされた。その後、同年11月に先住民・農業団体グループが、

環境影響評価時に環境評価局が先住民との協議を怠っていたとして環境認可の無効を求める差し止め訴訟を起こしたが、2014年4月、Copiapó 上訴裁判所はこれを棄却。棄却を不服とする先住民グループは、同年5月、最高裁判所へ上訴。最高裁判所は、同年10月7日、先住民グループの訴えを認める判決を下し、今後、プロジェクトを進めるためには、ILO 第169号条約に則った先住民グループとの協議が必要であるとしていた。最高裁の判断について Goldcorp 社は、環境認可の再取得が必要となる本判決に驚きを示しつつも、チリの制度を尊重して判決に従うとし、プロジェクトに関するすべての作業を一時中止したうえで、環境影響評価調査のやり直しの可能性を含め、年内に今後の方針を決定したいとしていた。

El Morro 金-銅プロジェクトは、Goldcorp 社(70%)と New Gold 社(30%)の合弁事業であり、初期投資額 39 億 US\$により資源量 14.4 億 t(平均金品位 0.34g/t、平均銅品位 0.41%)の鉱床開発を目指すもの。

### ③ Maricunga 金鉱山

2014年2月12日、環境監督庁は加 Kinross Gold が操業する Maricunga 金鉱山 Refugio プロジェクト(第Ⅲ州)に対し、環境認可違反による 5,122UTA(約 450 万 US\$)の罰金を決定したと報道された。指摘された環境認可違反は、ベルトコンベアの覆いの未整備、救急用地へのズリ及び廃棄物の集積、磨鉱プラントからの粒子状物質拡散防止インフラの未整備など。なお、この罰金適用による鉱山の操業停止はないとされた。Kinross Gold はこの措置に関し、「指摘された事項は自社内調査結果の一部として当局に報告しており、また、環境への何らのダメージを与えていないことを考えると罰金額は過大である」とコメントし、措置の正当性について環境裁判所で争う意向を示した。

2014年2月25日、環境裁判所は環境監督庁が決定した罰金措置に対する Kinross Gold の訴えを認め、新たな情報が提供されるまで罰金の支払いを保留することを命じた。

2014年6月、環境裁判所は、環境監督庁の Maricunga 鉱山に対する罰金裁定の再作成を命じた。新たな裁定には、Kinross Gold が2013年11月に開始していたが、期限後に提出されたとして環境監督庁が不受理とした修復プロセスを考慮するよう求められた。さらに裁判所は、問題に対処するための同鉱山のアクションプランを却下する際、環境監督庁に不法な振る舞いがあったことも認めた。

### ④ Andina 拡張プロジェクト

2014年12月、CODELCO は、Andina 銅鉱山拡張プロジェクト(Andina 244 プロジェクト)に係る環境影響評価調査を一時保留したと報じられた。SEA(環境評価局)に提出された文書に基づくと、保留措置は2015年1月末までとされ、市民や NGO などから提出された 1,000 件以上の要望およびコメントを考慮した計画修正のためとされる。今回の計画修正は2回目となり、第1回目では氷河への影響を低減させるための露天採掘ピット形状の変更や、操業期間中のモニタリング実施を盛り込む等の計画修正が行なわれていた。

### ⑤ Los Pelambres 銅-モリブデン鉱山 El Mauro 廃さいダム

2014年10月、チリ最高裁判所が、Caimanes 地区の住民が起こした El Mauro 廃さいダムの取り壊しを求める訴えを認める判決を下したことから、2014年11月、Antofagasta 社は、最高裁判決を遵守するために必要な追加工事実施計画を裁判所に提出。

その後、2015年3月、Los Villos 裁判所は、Los Pelambres 銅鉱山の El Mauro 廃さいダムが Pupio 川河口の水量と水質に影響を及ぼしているとする Caimanes 地区住民の訴えを認め、同ダム堤体の一部または全部を撤去することを命ずる判決を下した。鉱山サイトでの地域住民による抗議運動の影響で、銅金属量 8,000t の生産減に相当する鉱山操業への影響が生じた。

同鉱山を操業する Antofagasta 社は、これを不服として、La Serena 上訴裁判所に上訴。2015年4月、La Serena 上訴裁判所は、Los Pelambres 鉱山の申し立てを認め、Caimanes 地区の住民グループが

提起した訴えを却下する判決を下した。これにより、El Mauro 廃さいダムの耐震性がないと主張する Caimenes 地区住民の訴えを認め、廃さいダムの撤去を命じた Los Villos 裁判所の判決が破棄された。判決はダムの安全性を認める内容で、「El Mauro 廃さいダムは、現行の法的規制に従い設計・建設された。また、高い安全基準に準拠しており、Illapel 沖に大きな地震 (M8) が来ても、耐えられる構造になっている。また、大雨に耐えられるように設計されている。結果、Caimenes 地区の住民に大きな被害をもたらすことはないであろう」としている。

Los Pelambres 鉱山は、Caimenes 地区の住民グループが、上訴裁判所の判決を不服として、最高裁判所に訴える可能性は非常に高いと見ている。

## (2) 電力・エネルギー関係

### ① 鉱山企業による発電プロジェクトへの参入事例

#### Antofagasta Plc 社

2014年8月26日、Bachelet 大統領、Pacheco エネルギー大臣、Jean Paul Luksic Antofagasta Minerals 社会長、および Michael Garland Pattern Energy 社 (米国) CEO 出席のもと、サンティアゴの北 400km、第IV州コキンボ市近くに建設された El Arrayán 風力発電所 (投資額 3 億 US\$、Antofagasta Minerals 社 30%、Pattern Energy 社 70%) の開所式が行なわれた。南米最大の風力発電所として 6 月 12 日に本稼働を開始した同発電所の出力は 115MW で、発電される電力の 70% が Los Pelambres 銅鉱山へ供給される。残りの 30% はスポット市場で売られる計画。今後 20 年間、同鉱山へ電力が供給される契約となっており、その供給電力量は、同鉱山での電力消費量の 20% に相当する。

2014年10月、Los Pelambres 銅鉱山が、Pattern Development 社と長期 (22 年間) 電力購入契約を結んだと報じられた。電力は、同社の Conejo 太陽光発電所 (出力 104MW、所在地 Tal Tal) から Los Pelambres 鉱山に供給される。現在、同発電所は、2016 年の運転開始にむけて建設が進んでいる。Los Pelambres 鉱山は、鉱山で消費される電力のうち非従来型再生可能エネルギー電力の占める割合を、2016 年には 50% とすることを目標としている。

#### BHP Billiton

2014年8月28日、BHP Billiton は Kelar 火力発電所 (第II州 Mejillones 湾岸地域、出力 517MW) の竣工式を開催した。2016 年に予定されている運転開始後 15 年間、同社が操業する Escondida 銅鉱山 (第II州)、Spence 銅鉱山 (第II州)、および Cerro Colorado 銅鉱山 (第I州) に電力を供給する計画。LNG コンバインドサイクル発電方式が採用されたこの火力発電所の建設費は 6 億 US\$ で、Korean Southern Power 社 (65%) とサムスン物産 (35%) で構成されたコンソーシアムが建設工事にあたる。燃料となる天然ガスは、Gas Natural Fenosa 社 (スペイン) から供給を受けるほか、Sabine Pass LNG ターミナルを建設中の Cheniere Energy 社 (米国) を含めた、BHP Billiton 社の世界的ポートフォリオから調達する予定。現在、FS 段階にある Escondida 鉱山や Spence 鉱山の拡張プロジェクトが生産に移行し、電力消費量が増えた場合、同発電所の出力規模が拡大される可能性もある。

### ② エネルギー消費

2014年4月25日付けの COCHILCO の発表によると、2013 年にチリ鉱業が消費したエネルギー量は前年比 4.6% 増の 146.9 TJ であった。このエネルギー消費の増加の主な原因は、産銅量が前年に比べ 6.3% 増加したことによると説明された。エネルギータイプ別に見ると、燃料エネルギー消費量が 67.5TJ で前年比 4.5% 増、電気エネルギー消費量が 79.4TJ で前年比 4.6% 増であった。エネルギー消費量が多い工程は、採掘、選鉱、SxW で、それぞれ全体の 39%、28%、17% を占める。同発表によると、鉱山企業のエネルギーコストは、オペレーションコストの約 25% まで増加しているとされた。

### (3) 新エネルギー関係

2014年12月、2014年10月末時点での非在来型再生可能エネルギー(non-conventional renewable energy: NCRE、再生可能エネルギーのうち大規模ダム・流れ込み式水力発電を除くもの)発電出力は1.91GWに達し、前年同期より56%増となったと報じられた。10月のNCRE実績発電量は電力供給システム全体の9.6%となる571GWhであり、前年同期の82.8%増であった。稼働しているNCRE発電所の出力を発電様式別でみると風力発電(836MW)が最大であり、バイオマス(461MW)、小水力発電(343MW)、太陽光発電(222MW)が続く。また、建設中の発電所の総出力は756MWとなっており、様式別では太陽光発電(456MW)、小水力発電(129MW)、太陽熱発電(110MW)の順となっている。発電所建設事業としては、出力総計14.4GWの事業が環境認可承認済みであり、5.34GWの事業が承認待ちである。チリ政府は2025年までに総発電量の20%をNCREにより賄うとする計画を策定しており、Bachelet大統領の電力政策では、2014~2025年に新規に導入される発電力の45%をNCREによる発電とすることを規定している。

CODELCOは、2014年12月4日付けニュースリリースで、El Teniente銅鉱山(第VI州)の尾鉱流路を利用する小水力発電所の建設に係る国際入札を開始したことを発表した。尾鉱流路利用としては世界初となるこの水力発電事業の最大出力は3MWである。同社は、2008年以来実施してきた研究および実証試験の結果は、複数の尾鉱流路を活用することで、12~14MWの発電が可能であることを示唆としている。同社は発電会社を設立し、SIC(中央供給システム)に販売する予定。本事業は同社の鉱山操業における非在来型再生可能エネルギー利用推進の一環であり、Chuquicamata銅鉱山(第II州)の太陽光発電(1MW)やGabriela Mistral銅鉱山(第II州)の太陽熱利用プラントに続く事業となる。

2015年7月、Enel Green Power社(イタリア、以下、EGP)とENAP(チリ石油公社)が出資するGeotérmica del Norte社(出資比率はEGP:51% ENAP:49%)は、南米初となる地熱発電所建設プロジェクトであるGerro Pabellónプロジェクトに着手したと報じられた。同プロジェクトは、第II州カラマ市の北東100kmのアンデス高原(標高4,500m)に位置し、出力24MWの発電所2基を建設する計画。初期投資額は3.2億US\$で、2017年前半に稼働開始を見込む。発電された電力は長期契約にもとづきEndesa社に売却され、SING(北部供給システム)に供給される計画。年間発電量はチリ一般家庭16.5万世帯に相当する340GWh。

### (4) 法制度改正の動き

#### ①労働改革法案

2014年12月29日、Bachelet大統領は、労使交渉における労働組合の交渉力強化を目的とする労働改革法案に署名し、その後、国会での審議が開始された。労働改革法案に含まれる事項には次のものがある、

- ・団体交渉の適用となる対象労働者(一時雇用等)の拡大
- ・団体交渉における現行労働協約の条件に劣る条件の経営者提示(ボーナス減額提示等)の禁止
- ・ストライキ中の代替労働者雇用の禁止

### (5) 労使関係

2015年2月、CODELCOは、Ministro Hales銅鉱山、Andina銅鉱山の労働組合と労働協約を締結したと報じられた。Ministro Hales労働組合(349名)との合意内容は、1.85%のベースアップ、980万ペソ(約15,800US\$)のボーナス支給、勤務シフト変更による割増分170万ペソ(約2,700US\$)の支払い、250万ペソ(4,000US\$)の低金利融資の提供、契約期間46カ月。Andina専門職労働組合(369名)との合意内容は、1.85%のベースアップ、1,200万ペソ(約19,300US\$)のボーナス支給、契約期間38カ月。

(2015. 8. 31 サンティアゴ事務所 山本邦仁)